内水氾濫と洪水(外水氾濫)の違い

内水氾濫

短時間の大雨によって下水道施設や水路などの排水能力を上回った場合や、川の水位が高くなり放流できない場合にマンホールや雨水ますなどから溢れて起こる浸水。

洪水(外水氾濫)

長時間の大雨によって川の水位が高くなることで堤防から水が溢れたり、堤防が決壊して発生する浸水。

被害大

大雨を知る

雨の強さと降り方

1時間雨量	10～20ミリ やや強い雨	20～30ミリ 強い雨	30～50ミリ 激しい雨	50～80ミリ 非常に激しい雨	80ミリ 猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
人への影響	地面からの跳ね返りで足もとがぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
災害発生状況	長く続く時は注意が必要。	側溝や小さな川が溢れる場合がある。	崖崩れがおきやすくなり土砂災害の危険区域では避難の準備が必要。	土石流が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがあり、警戒が必要。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

大雨時の危険箇所

アンダーパスに注意

大雨や洪水(外水氾濫)でアンダーパス(立体交差で、掘下げ式の下になっている道路)においては水が溜まりやすく大変危険です。冠水時には、水深も水の中の様子もわかりません。普段から地域のアンダーパスの場所を把握し、大雨時には進入しないよう、迂回ルートを知っておきましょう。

冠水時に進入すると

水深 30cm	水深 50cm	水深 1m
車が動かなくなります	ドアが開かなくなります	車が浮いて流されます
マフラーから水が入ると エンジンが停止して、立ち往生してしまいます。	水圧でドアを開けることができなくなり、車内に閉じ込められてしまいます。	車体が浮いて流されてしまいます。避難路がふさがれ、避難に支障をきたします。

冠水表示板

市内アンダーパスの数か所には、冠水表示板があり、水位の上昇に合わせて、注意喚起や通行止めといった情報が表示されます。
※詳細は市道路・公園課(TEL0797-38-2062)まで

地下空間の危険

地下室や半地下等の地下空間は、地上の状況を把握しにくく、地上が冠水すると一気に水が流れ込んでくることがあります。
低い水位でも水圧でドアを開けることができず、さらに停電によるエレベーターの停止や視界不良も考えられ、避難困難となるため早めに地上・上階へ避難しましょう。

地下室では外の様子が判りません。 | 水圧でドアは開きません。 | 地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます。 | 浸水すると電灯が消えます。

水害に備えて

非常持ち出し品の準備

避難後すぐ必要になるものを、すぐに持ち出せるようにリュックなどにまとめておきましょう。(成人男性で15kg、成人女性で10kgを目安に)

- ☐ 水(飲料水)
- ☐ 備蓄食料(レトルト食品など)
- ☐ 現金・クレジットカード
- ☐ 貴重品(身分証明書等)
- ☐ 着替え・下着類
- ☐ スマホ・携帯電話・充電器
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 懐中電灯・ヘッドライト
- ☐ ヘルメット・ライフジャケット
- ☐ マッチ・ライター・ろうそく
- ☐ 軍手・ゴム手袋
- ☐ 防寒具・雨具
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ マスク
- ☐ 救急セット(包帯・絆創膏など)
- ☐ ハンドソープ・せっけん
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ 上履き・スリッパ
- ☐ タオル
- ☐ ビニール袋

※この他、常備薬やお薬手帳、生理用品、赤ちゃん用品、介護用品など各家庭で必要と思われるものを準備しましょう。

避難時の心得

避難の際には次のことに注意しましょう。

1 動きやすく安全な服装で

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、靴はひもでしめられる運動靴を。
裸足・長靴は厳禁です。

2 単独行動はしない

避難するときは２人以上で。はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。

3 子どもや高齢者に配慮する

高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を着けさせて、安全を確保しましょう。

4 足もとに注意する

水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が。長い棒をつえ代わりにして、確認しながら歩きましょう。

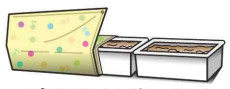
5 深さに注意

歩行可能な水深の目安は約50センチですが、流れが速いときは20センチでも危険。危ないと判断したら無理をしないで、高い場所で救助を待つ。

浸水被害を防ぐために

止水板を使ったり、プランターを並べレジャーシートで包んだりすることで、家屋への浸水を防ぐことができますので、日頃から準備をしておきましょう。

止水板



プランターとレジャーシート

側溝や雨水ますから雨水を集めています。ごみや落ち葉等が詰まると水が流れにくくなるので、周辺の側溝や雨水ますの掃除にご協力をお願いします。

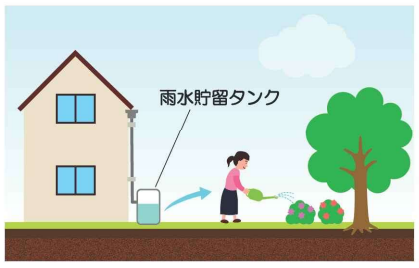
大雨の時のお願い

大雨の時は、下水道管の水が満杯になりやすいため、下水道管が溢れないように、「お風呂の残り湯」や「洗濯の排水」のような大量の水は、雨が止んでから流すなどのご協力をお願いします。
合流式の区域の方は、下水道管の水が宅内に逆流しないように、最終ますを開けてください。

https://www.city.ashiya.lg.jp/gesuidou/goryu-bunryu.html

雨水貯留タンクの設置

市民の皆様に雨水貯留タンクを設置していただくと、大雨の時に下水道管に流れ込む雨水を少なくすることができ、浸水被害の軽減につながります。
また、貯まった雨水を庭の水やりなどに使うことで、貴重な水資源を有効利用できます。芦屋市では雨水貯留施設の設置費用の２分の1を補助します。上限は30,000円です。



https://www.city.ashiya.lg.jp/gesuidou/usuityoryuushisetu.html

避難情報など

警戒レベルと避難行動

警戒レベル	状況	避難情報等	あなたがとるべき避難行動
警戒レベル1	今後気象状況の悪化のおそれ	早期注意情報 気象庁が発表	災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル2	気象状況の悪化	大雨注意報 洪水注意報等 気象庁が発表	自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル3	災害のおそれあり	高齢者等避難 芦屋市が発令	危険な場所から高齢者等は避難
警戒レベル4	災害のおそれ高い	避難指示 芦屋市が発令	危険な場所から全員避難
〈警戒レベル4までに必ず避難〉			
警戒レベル5	災害発生または切迫	緊急安全確保 芦屋市が発令	命の危険 直ちに安全確保！

「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難！

5段階の「警戒レベル」を確認しましょう！

集中豪雨や台風などによって、災害が発生するおそれがあるとき、状況に応じて発令される5段階の警戒レベルを用いた防災情報があります。警戒レベルごとに避難行動の目安にしましょう。
警戒レベル5は既に災害が発生・切迫しており命の危険がある状態であるとともに、必ず発令される情報ではないことから、警戒レベル5を待つことなく、警戒レベル4までに避難することが必要です。

在宅避難のポイント

断水が発生！ トイレどうしよう…

断水や停電によりトイレが使用できなくなった時のために、

1日5回×1週間×家族の人数

を目安に、簡易トイレを用意しておきましょう。

停電だ！ どうしよう…

懐中電灯や乾電池、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどを備蓄しておきましょう。
特に、停電時はテレビからの情報収集ができなくなります。停電時でも情報を得られるように備えましょう。
また、冷蔵庫の中身を確認して、生鮮食品など、傷みやすい物から食べるようにしましょう。

ガスも電気も止まって料理ができない！ どうしよう…

カセットコンロやガスボンベを備蓄しておきましょう。調理だけでなく、お湯を沸かすのにも利用できますので、例えば、湯たんぽなどを用いて、真冬は暖をとることができます。
また、缶詰や防災カレーなどの調理の必要がなく、そのまま食べられる食料なども備蓄しましょう。

安心な在宅避難のために必要な備蓄品(例)

飲料水や食料はできれば**1人1週間分**、最低でも**3日分**は備蓄しておきましょう。
飲料水は**1人1日3ﾘｯﾄﾙ**を目安に！

断水に備えて、衛生環境を保つ物品を用意しておきましょう。また、お風呂やシャワーが使えない場合もあるので、**ドライシャンプー**や**クレンジングシート**、**赤ちゃん用のおしり拭きシート**などがあると便利です。

節水料理や節水家事に便利なラップ、ポリ袋、使い捨て食器を備えておきましょう。ポリ袋は調理、ごみ袋、手袋の代わりとしても活用できます。

豪雨時の情報入手について

災害発生時に市ホームページ、あしや防災ネット、防災行政無線など、さまざまな広報手段により防災に関する情報が発信されています。自ら情報を取りに行きましょう！！

土砂災害、洪水、津波、高潮防災情報マップも併せてご確認ください。
※詳細は市防災安全課(0797-38-2093)まで

防災行政無線(屋外拡声子局スピーカー)

屋外にいる人へ向けた防災情報ツールです。災害が発生した際に避難の呼びかけなどの情報を聴くことができます。放送内容が聞き取れなかった場合は、自動応答電話(☎050-5527-2580)(通話料有料)でもう一度聴くことができます。

屋内では

緊急告知ラジオ

防災行政無線の放送を聴くことができます。電源を切っていても、緊急時には自動的に起動し、最大音量で放送されます。通常のラジオとしても利用できます。購入補助制度があります。

携帯・スマホでは

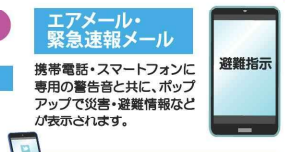
あしや防災ネット

登録したアドレスにメールで届く、防災情報を確認できます。

「あしや防災ネット」かんたん登録コード

エアメール・緊急速報メール

携帯電話・スマートフォンに専用の警告音と共に、ポップアップで災害・避難情報などが表示されます。



SNS

FacebookとTwitterで防災情報を確認できます。

Facebook検索 芦屋市防災情報

Twitter検索 芦屋市防災情報 @ashiyashi_bosai

テレビ

dボタンを活用して、災害時の情報を確保できます。

市ホームページ

災害時にトップページから情報を確認できます。

https://www.city.ashiya.lg.jp

その他参考にできる情報

気象庁ホームページ

http://www.jma.go.jp/jp/yoho/

【今後の雨】
15時間先までの降水量を調べることができます。

【台風情報】
現在発生している台風の情報を調べることができます。

【アメダス】
現在までの10分間降水量及び1時間降水量を調べることができます。

関西電力停電情報

https://www.kansai-td.co.jp/teiden-info/index.php

大阪ガス提供停止状況

https://network.osakagas.co.jp/area-exhibition/

阪急電鉄運行情報

https://www.hankyu.co.jp/railinfo/

JR西日本運行情報

https://trafficinfo.westjr.co.jp/sp/list.html

阪神電鉄運行情報

https://rail.hanshin.co.jp/

阪急バス運行情報

https://www.hankyubus.co.jp/unkou-info/#u-route